

主要事業個別シート(第2次実施計画／H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード		事業名			部名	環境産業部		
	26003		ごみ溶融処理施設ボイラー設備整備事業			室名	廃棄物対策室		
	施策体系	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造				財務科目	会計	01:一般会計
		基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現					款	04:衛生費
		施策の方向	05:廃棄物処理施設の適正管理					項	02:清掃費
		戦略プロジェクト	-					目	02:塵芥処理費
	事業予定期間		H 26 ~ H 27 年度	主な根拠法令要綱等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法			

② 目的・概要	対象	市民及び事業者			
	目的	平成24年度の溶融施設定期整備において、ボイラー設備過熱器管等の摩耗が急激に進行していることが判明し、応急的な補修で対応してきたが、さらに摩耗が進行していることが判明した。これ以上摩耗が進行すると電気事業法で規定する最小肉厚を下回り、溶融施設の運転を停止せざるを得なくなることから、損耗の激しい部位の更新・改修工事を行い、施設の延命化を図る。これにより、廃棄物を将来にわたって継続的に適正処理する。			
	概要	平成26・27年度の2ヶ年継続事業として、1・2号ボイラー3次過熱器管等の損耗の激しい部位の更新・補修工事を実施する。			

③ 年度別事業計画
事業の計画

平成27年度				平成28年度							
H27工事分 1号ボイラー 製品製作(3次過熱器管) 3次過熱器更新、1パス補修工事											
計画額	事業費		145,000千円								
	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債		108,700千円								
	その他										
	一般財源		36,300千円				0千円				
	予算額	事業費		139,320千円				0千円			
		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債		104,400千円							
その他											
一般財源		34,920千円				0千円					
期間内総事業費(H27・H28)①		145,000千円		期間外事業費(H29以降)②		0千円		総事業費 (①+②)		145,000千円	

④ 指標				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
	①	名称	ボイラー設備整備 進捗率	計画値	100	
		補足	ボイラー3次過熱器管更新及び1パス水冷壁管補修工事実施済み事業費／総事業費 (H26:進捗率50%)			
	②	名称		単位	%	
		補足				
	③	名称		計画値		
		補足				
	④	名称		単位		
		補足				
		名称		計画値		
		補足				

事務事業評価シート

H27(主要事業)

①基本事項	計画コード	事業名			部名	環境産業部		
	26003	ごみ溶融処理施設ボイラー設備整備事業			室名	廃棄物対策室		
	施策体系	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造			財	会計	01:一般会計
		基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現			務	款	04:衛生費
		施策の方向	05:廃棄物処理施設の適正管理			科	項	02:清掃費
	戦略プロジェクト	-			目	目	02:塵芥処理費	

②目的・概要	対象	市民及び事業者					
	目的	平成24年度の溶融施設定期整備において、ボイラー設備過熱器管等の摩耗が急激に進行していることが判明し、応急的な補修で対応してきたが、さらに摩耗が進行していることが判明した。これ以上摩耗が進行すると電気事業法で規定する最小肉厚を下回り、溶融施設の運転を停止せざるを得なくなることから、損耗の激しい部位の更新・改修工事を行い、施設の延命化を図る。これにより、廃棄物を将来にわたって継続的に適正処理する。					
	概要	平成26・27年度の2ヶ年継続事業として、1・2号ボイラー3次過熱器管等の損耗の激しい部位の更新・補修工事を実施する。					

③指標	①	名称	ボイラー設備整備 進捗率	計画値	27年度		28年度	
		補足	ボイラー3次過熱器管更新及び1パス水冷壁管補修工事 実施済み事業費／総事業費（H26:進捗率50%）	実績値	100			
				単位	100			
					%			
	②	名称		計画値				
		補足		実績値				
				単位				
	③	名称		計画値				
		補足		実績値				
				単位				
	④	名称		計画値				
		補足		実績値				
			単位					

④事業の計画・実績	年度計画				年度実績				
	H27工事分 1号ボイラー 製品製作(3次過熱器管) 3次過熱器更新、1パス補修工事				H27工事分 1号ボイラー 製品製作(3次過熱器管) 3次過熱器更新、1パス補修工事 【H27.10.31完成】				
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	455	平均給与額×③
		国庫支出金		0			一般職員人件費 ②	455	
		県支出金		0			所要人員 ③	0.06	
		地方債	108,700	104,400	104,400		臨時職員人件費 ④	0	
		その他		0			受益者負担額 ⑤	0	
		一般財源	36,300	40,600	29,240	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
		再 翌年度への繰越額		0					
		掲 前年度からの繰越額		5,680	5,680				
	総人件費		①	455					
	総コスト		⑥	134,095					

⑤事業の評価	【事業の成果】	総合判定	
	当初計画通り、H27工事分が完了した。これにより、H26・27継続事業として実施してきた本工事の全工程が完成した。 当初の工期はH28.3.11であったが、製作工場の調整により約5か月間短縮することができ、H27.10.31に完成した。 これにより、日常のごみ処理への影響を軽減させ、廃棄物をより早期に安定的に処理することが可能となった。	A	
	順調に進んだ		
【反省点・課題】	本工事に限らず、ごみ溶融処理施設における工事は日常のごみ処理と併行して実施することから、それへの影響を最小限とするため、溶融炉運転管理委託者と工程管理等について連携を密にすることが重要である。		
	【改善の方向性】 溶融炉運転管理委託者と綿密に協議・連携し、工程管理等に十分留意する必要がある。 また、施工中に事故が発生してごみ処理を停止せざるを得なくなった場合、市民生活に深刻な影響が生じる恐れがある。このため、引き続き労働安全衛生法の遵守に心掛ける必要がある。		
事業目的の妥当性：適切		有効性：適切	最終評価確認者：廃棄物対策室長 谷口広幸